

第14期 中間

# ナブテスコ通信

2016年1月1日から2016年6月30日まで

## INDEX

トップメッセージ 01

**中期経営計画の総仕上げを進めつつ、  
「次」に向けた成長投資を実行してまいります。**

CSRへの取り組み 04

連結決算ハイライト 05

トピックス 07

当社海外事業のご紹介 08

コーポレートデータ 09

株主さまインフォメーション 裏表紙



ナブテスコ 株式会社

証券コード:6268



## 中期経営計画の総仕上げを進めつつ、「次」に向けた成長投資を実行してまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。ここに当社第14期(2016年12月期)第2四半期累計期間の営業状況をご報告申し上げますとともに、今後の見通しや株主還元についてご説明させていただきます。

代表取締役社長 **小谷和朗**

### 精密機器と輸送用機器は売上未達ながら、他事業は堅調に推移。売上高・営業利益の計画達成度は順調。

当第2四半期累計期間は、精密機器事業において精密減速機が前第3四半期(2015年10月1日～2015年12月31日)の一時的な生産調整による影響を受け、輸送用機器事業も造船市況の悪化により船用機器が低調となりましたが、その他事業の国内外市場は堅調に推移しました。結果として、受注高は全体で1,194億8千6百万円を獲得し、連結業績は売上高1,162億7千万円、営業利益107億3千1百万円、経常利益100億5千2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益72億1千1百万円となりました。前期が決算期変更の経過期間

であったため、前年同期との単純比較はできませんが、計画達成度としては、売上高が98.5%、営業利益が107.3%、経常利益が90.6%、親会社株主に帰属する四半期純利益が93.6%となっています。

2016年12月期第2四半期累計期間 連結業績サマリー	
売上高	1,162億円
営業利益	107億円
経常利益	100億円
親会社株主に帰属する四半期純利益	72億円

#### ナブテスコグループ長期ビジョン

2020年度の目指す姿  
グローバルに成長し続ける  
ベストソリューションパートナー

2020年度の経営目標  
売上高 **4,000** 億円  
営業利益 **600** 億円

- 新しいソリューション(製品・サービス・ビジネスモデル)を社会に提供し続けている
- たゆまぬ技術革新により、顧客に頼られる専門性を追求している
- 言葉・文化の違いを超えてオープンなコミュニケーションと自由な発想を尊重している
- 「Enjoy the Challenge」を合言葉に社員一人ひとりが積極的にチャレンジしている

事業別の状況を述べますと、精密機器事業は、精密減速機で自動化関連投資を中心に成長が見られたものの、前第3四半期に生じた一時的な受注減により、売上高・営業利益ともに計画を下回りました。

輸送用機器事業は、商用車用機器が堅調に推移していますが、鉄道車両用機器は中国で一部案件の遅れがあり、船用機器も海運・造船市況の低迷による影響を受けている状況です。そのため、売上高は計画を下回りましたが、営業利益については、製品構成差による増益効果が生じ、計画以上の成果となりました。

航空・油圧機器事業は、航空機器が安定した民間航空機需要を受け、油圧機器も中国の建設機械需要が想定通りに推移していることから、売上高は計画をクリアし、営業損失額は計画よりも改善しました。

産業用機器事業は、自動ドアを中心に底堅い需要を受けて堅調に推移したこと、販売会社の連結子会社化が想定よりも早く完了したことから、売上高・営業利益ともに計画を超えました。

### 油圧機器は構造改革により当期中に収支均衡へ。次期中期経営計画では新製品の投入で利益を確保。

当期は、3ヵ年中期経営計画「Think Global! Act Local! For the Second Decade」の最終年度となります。本計画では「連結売上高2,800億円±5%」「連結営業利益340億円」を目標に掲げ、「Market Creation」と「Technology Innovation」による成長戦略を推進するとともに、「Financial Strategy」に基づく財務基盤の強化と株主価値の向上を目指しています。

これまでの進捗として、「Market Creation」では、精密機器事業におけるアクチュエーターなど高付加価値製品の市場投入、海外展開の加速に向けた販売・サービス拠点の拡充、MRO体制の構築・強化による収益確保を進めてきました。また「Technology Innovation」では、グローバル生産体制による「地産地消」のものづくりの確立を目指しつつ、これをマザー工場として支える国内生産拠点の近代化を図って

## トップメッセージ

きました。

しかし数値目標については、後述の通期業績見通しに示す通り、未達となる見込みです。その要因としては、新興国市場での伸びを期待した鉄道車両用機器、商用車用機器、油圧機器、包装機の成長が鈍化し、特に油圧機器が中国建機市場の大幅な需要減退に見舞われたことが挙げられます。なお油圧機器の現況は、すでに構造改革による止血策を完了しており、当期は損益を収支均衡まで改善できる見込みです。

### 中間配当は1株当たり24円を実施し、 年間で6円の増配を予定。 成長投資と株主還元の両立を追求。

通期業績の見通しについては、今のところ概ね期初の計画に沿った進捗状況にあることから、連結業績予想を変更せず、売上高2,500億円、営業利益255億円、経常利益270億円、親会社株主に帰属する当期純利益189億円の達成を目指します。

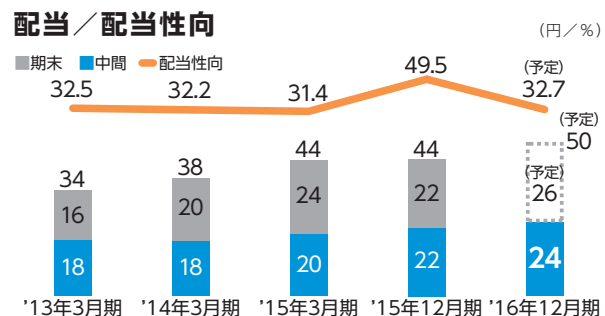
なお今回の中間配当は、予定通り1株当たり24円と

させていただきます。期末配当は同26円を予定しており、年間配当額は同50円(前期比6円増配)、配当性向は32.7%となる見込みです。

現在策定中の次期中期経営計画は、長期ビジョンの最終年度(2020年)に合わせて4ヵ年計画とする予定ですが、前半の2年は、オーガニック成長を中心に追求し、後半の2年は、それに加えて付加価値のある新製品の投入で利益を確保していく考えです。

当社は、成長投資と株主還元の両立を追求していく方針であり、この3年間においても、研究開発費や広告宣伝費、IT関連費用、海外拠点整備といった販管費の投入と、生産設備の増強およびM&Aによる戦略投資を実施しながら、自己株式の取得を含む総還元性向の向上を図ってまいりました。この方針は、次期中期経営計画においても維持し、必要な成長投資を遂行しつつ、株主の皆さまのご期待に十分に答えられる還元を目指したいと考えています。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2016年12月期連結業績見通し

売上高	2,500 億円
営業利益	255 億円
経常利益	270 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	189 億円

## CSRへの取り組み

お客さまとともに市場創造・製品開発に取り組み、付加価値の高い技術・製品を提供することによって社会・経済の発展に貢献するとともに、CSRの推進に積極的に取り組んでいます。

### 介助用電動車いす『アシストホイール』の寄贈活動

『アシストホイール』は、介助者の負担を軽減するために開発された製品です。上り坂や下り坂、不整地など通常の車いすでは通行が困難な場所で、センサーにより自動的にモーターやブレーキが働き、介助者の負担を軽減します。

当社グループでは2008年から毎年、当社事業所またはグループ社員の主な居住自治体を対象に、『アシストホイール』の寄贈を続けています。また、2011年度以降は、東日本大震災被災地への寄贈も行っており、累計寄贈台数は300台になります。今後も『アシストホイール』が、多くの方のお役に立つことを期待しています。

### 「日経エデュケーションチャレンジ」への協賛

「日経エデュケーションチャレンジ」は、社会の第一線で活躍する企業人が講師となって高校生に「生きた授業」を行い、企業活動の意義ややりがいを伝えることをコンセプトとした教育プログラムです。本プログラムは日本経済新聞社が主催し、当社も協賛しています。2016年は当社航空宇宙カンパニー社員が講師として登壇し、当社の事業や仕事の魅力を伝えました。今後もこのような教育イベントに積極的に参画し、次世代育成に貢献していきます。



### 社会的責任投資の国際指標「FTSE4Good Index Series」に 13半期連続で継続選定

世界的に権威のある社会的責任投資<sup>\*1</sup>の指標である「FTSE4Good Index Series」(以下FTSE4Good)において、継続して選定されました。

FTSE4Goodは、英国のFTSE Russell社<sup>\*2</sup>が提供するSRIの代表的な指標で、環境・社会性・コーポレートガバナンスの3つの観点から企業の社会的責任(CSR)や持続可能性(Sustainability)を評価し、総合的に優れた企業を選定するものです。FTSE4Goodは米国のDJSI(Dow Jones Sustainability Indices)とならび、世界の2大SRIインデックスと呼ばれ、企業の持続可能性に関心を持つ投資家の重要な投資選択基準の一つとなっています。

この度の継続選定は当社の一連の活動が高く評価されたものと認識しており、今後も社会的責任を果たすとともに、すべてのステークホルダーからの信頼に応えていく真のグローバル企業を目指していきます。

\*1 社会的責任投資(Socially Responsible Investment): 財務的分析に加えて、環境対応や社会的活動などの企業の社会的責任の評価を加味して行う投資手法

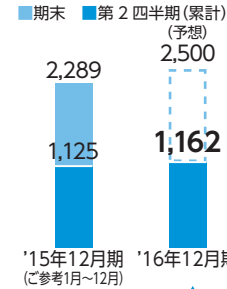
\*2 FTSE Russell社: ロンドン証券取引所の子会社で、世界的な株価インデックスと株価分析ソリューションを提供する企業



# 連結決算ハイライト

\* 2015年12月期第2四半期累計実績(参考値)および通期実績(参考値)については、2016年12月期第2四半期累計実績との比較を行うために諸々の前提に基づき計算をした数値であり、会計監査を受けた数値ではないためあくまで参考としてご覧ください。

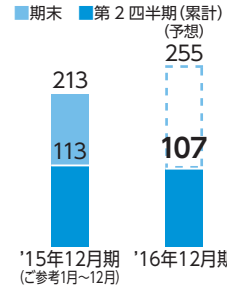
## 売上高



1,162 億円

舶用機器の市場悪化影響はあったものの、自動ドアでの販売会社の連結子会社化により前年同期に比べ増収となりました。

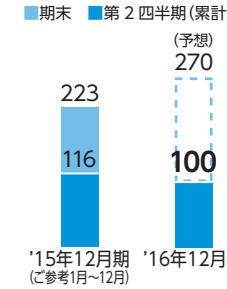
## 営業利益



107 億円

生産性の改善や減価償却費が減少したものの、為替の影響やM&Aによる費用増加、中国新工場立ち上げ費用など成長投資としての販管費増加により前年同期に比べ減益となりました。

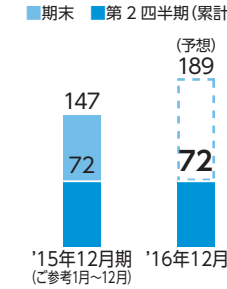
## 経常利益



100 億円

営業利益の減益に加え、持分法による投資利益の減少、為替差損により前年同期に比べ減益となりました。

## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



72 億円

販売会社の連結子会社化による特別利益を計上したものの、前年同期に比べ横ばいとなりました。

## 事業別概況

### 精密機器事業



売上高 267 億円 前年同期比 0.3%減

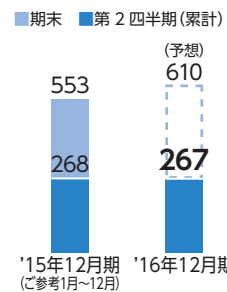
事業内容 精密減速機、3Dプリンター、真空装置、太陽追尾駆動装置、風力発電用駆動装置など

#### 当第2四半期(累計)のポイント

- 精密減速機は、2015年10~12月期の受注の落ち込みによる影響を受けた結果として昨年並み。
- 新エネルギーは、為替の影響はあるがほぼ横ばい。

#### 下期の計画

- 精密減速機は、第1四半期の出遅れはあるが、産業用ロボット向けの受注トレンドは概ね計画に沿って推移。新製品拡販目標の未達がリスク要因。
- 新エネルギーは、為替による顧客競争力の変動がリスク要因。



### 輸送用機器事業



売上高 298 億円 前年同期比 2.3%減

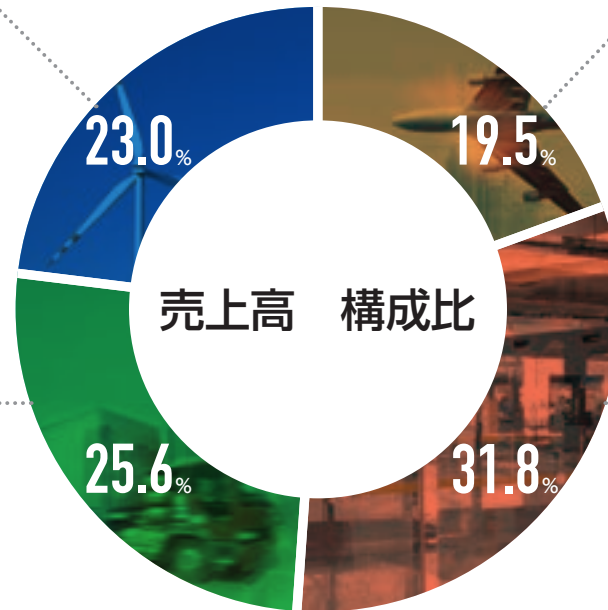
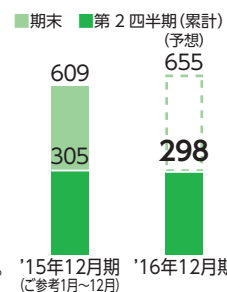
事業内容 鉄道車両用ブレーキ・ドア装置、舶用エンジン制御装置、商用車用エアブレーキ装置など

#### 当第2四半期(累計)のポイント

- 鉄道車両用機器は、中国向けの売上およびMRO (Maintenance, Repair and Overhaul) の増加により増収。
- 商用車用機器は、買収効果(ITG社)により増収。
- 舶用機器は、海運・造船市況の悪化を受けたことにより減収。

#### 下期の計画

- 鉄道車両用機器は、上期時点で若干の遅れが見られる中国鉄道案件の進捗に左右される。
- 商用車用機器は、OEMの成長において力強さを欠くが買収効果を含め順調に推移。
- 舶用機器は、海運・造船市況の悪化を受け計画達成が困難。



### 航空・油圧機器事業



売上高 227 億円 前年同期比 2.2%減

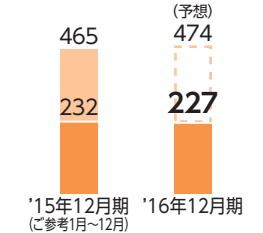
事業内容 フライト・コントロール・アクチュエーション・システム、建設機械用走行ユニットなど

#### 当第2四半期(累計)のポイント

- 油圧機器は、ハイエスト社の買収効果により増収。
- 航空機器は、為替影響により減収。

#### 下期の計画

- 油圧機器は、上期実績を鑑み、概ね計画通り進展。
- 航空機器は、為替変動によるリスクあり。



### 産業用機器事業



売上高 369 億円 前年同期比 16.0%増

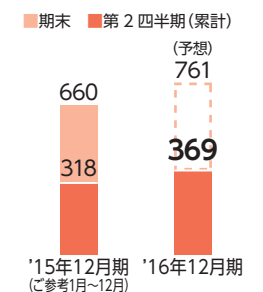
事業内容 建物用自動ドア、鉄道用プラットホームドア、包装機、専用工作機械など

#### 当第2四半期(累計)のポイント

- 自動ドアは、販売会社の連結子会社化により増収。
- 包装機は、国内市場が堅調であり増収。

#### 下期の計画

- 自動ドアは、販売会社の連結子会社化が想定よりも早く実施できたことから、順調に推移。
- PMI\*1の進捗によっては利益発現が遅れるリスクあり。
- 包装機は、上期の受注環境を踏まえ、過去最高の売上計画に対して順調に推移。



\*1 経営統合 (Post Merger Integration)

## トピックス

### 2016年 1月 RobecoSAM社の「Sustainability Yearbook 2016」 “Yearbook Member”に初選定

当社は、RobecoSAM社\*の「Sustainability Yearbook 2016」の“Yearbook Member”に初選定・掲載されました。この度の選定は当社の一連の活動が高く評価されたものと認識しており、今後も社会的責任を果たすとともに、持続的な企業価値の向上を追求していきます。\* RobecoSAM社：社会的責任投資に特化したスイスの調査・格付け会社



### 2016年 2月 ボーイング「737MAX」向けアクチュエーター量産用製品の納入開始

2016年2月16日、ボーイング737MAXの量産初号機に搭載されるスポイラー・アクチュエーターを出荷しました。当製品には、重量軽減および整備性向上を目的として、フライバイワイヤー方式が採用されており、777、747-8での経験を生かして開発・製造に注力しています。737シリーズは、民間航空機市場におけるベストセラー機であり、その最新鋭機である737MAXプログラムへの参画は、長期安定ビジネスの確保につながり、当社にとって新たな成長基盤となることを期待しています。



### 2016年 3月 船舶用機械装置累計出荷台数5万台達成

2016年3月1日に船舶用機械装置の累計出荷台数5万台を達成しました。環境規制の強化に伴い普及が進む「電子制御式ディーゼルエンジン」に対応した船用機関制御システム、油圧機器、センサー等の製品にも積極的に取り組んでいます。今後も独自のモーションコントロール技術を活用し、世界中の安全、安心、快適な航海を支えていきます。



### 2016年 4月 2015年 ボーイング サプライヤー・オブ・ザ・イヤーを受賞

当社は、ボーイング社より、2015年サプライヤー・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。2013年(アライアンス部門)に続いて、今回はコラボレーション部門での選出となりました。この度の受賞は、ナブテスコグループの総合力が評価されたものと考えており、今後もお客様にナブテスコ流の提案、サービスを提供し続けていくとともに、世界の皆さまに、安全、安心、快適な空の旅をお届けできるよう、一層精進してまいります。

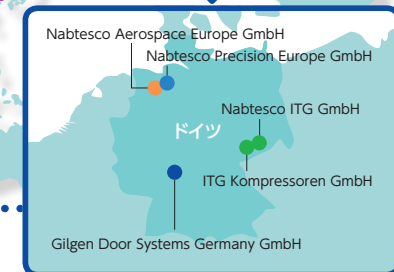


### 2016年 4月 商用車用コンプレッサーメーカー ITG Serienfertigung Fahrzeugteile GmbH(ITG-S)・ITG Kompressoren GmbH(ITG-K)を子会社化

長年にわたり欧州各社へコンプレッサーを供給するなど高い技術力を持つドイツのITG-S社とITG-K社の子会社化により、主力製品のエアドライヤーとコンプレッサーを合わせた付加価値の高いシステムの早期製品化を目指します。また、商用車用機器事業における初の欧州拠点を獲得することで、欧州顧客との関係をより強固なものとし、販売シナジーを創出してまいります。

## 当社海外事業のご紹介 vol.3

当社は、世界のお客様に価値ある製品を提供するため、グローバル展開をしてきました。前回のシンガポール共和国に続き、今回はドイツ連邦共和国の事業所についてご紹介します。



### ドイツ連邦共和国

#### Nabtesco Precision Europe GmbH

当社は1992年3月、欧州での精密減速機の販売および技術サービス対応を目的にドイツ(デュッセルドルフ)に事務所を開設しました。開設当初は数名規模でスタートしましたが、業務拡大に対応し、現在、従業員は30人を超えています。

2014年8月にはデュッセルドルフ国際空港近くのオフィスに移転し、欧州顧客の短納期要望に対応するとともに、周辺部品のカスタマイズに応える設計、生産機能も持つことで顧客満足度向上へ向け大きく前進しました。今後もさらなる顧客の要望に応え、生の声を日本に伝えながら、産業用ロボットによる自動化市場での拡販のみならず、工作機械など一般市場での精密減速機の売上拡大を図ってまいります。

**事業内容** 欧州、中東、アフリカにおける精密減速機の販売、技術サービス、MRO\*1ビジネスの提供およびマーケティング活動。

**所在地** Tiefenbroicher Weg 15, 40472 Duesseldorf, Germany



#### Nabtesco Aerospace Europe GmbH

2012年8月、民間航空産業において最も重要なエリアの一つであるヨーロッパ・中東地域のお客様へのサービス向上を目的とし、ドイツ(デュッセルドルフ)に現地法人を設立しました。

当社では、主力製品が搭載される777をはじめとする各種機体を運用するフルサービスキャリア\*2への保守・修理サービス強化を推進しています。これに加え、現在ボーイング社が開発中の737MAX/777Xのユーザーとなる新規顧客(含LCC\*3)のニーズ・ウォンツにも柔軟に対応し、タイムリーかつ適切なサポートを提供させていただくことにより、顧客満足の最大化を図るとともにMRO\*1ビジネスの拡大を目指してまいります。

**事業内容** 航空機関連機器の修理補用ビジネス・アフターサービスおよび民間航空ビジネスの情報収集。

**所在地** Tiefenbroicher Weg 15, 40472 Duesseldorf, Germany

\*1 MRO: Maintenance Repair and Overhaul

\*2 フルサービスキャリア: 従来型の付帯サービス(複数の座席クラス、機内サービス等)を提供する航空会社

\*3 LCC: Low Cost Carrier



#### Nabtesco ITG GmbH・ITG Kompressoren GmbH

ナブテスコオートモーティブは、商用車ブレーキ市場において、高まるシステム化製品のニーズに対応するため、ITG Serienfertigung Fahrzeugteile GmbH (Nabtesco ITG GmbHに会社名を変更)・ITG Kompressoren GmbHを子会社化しました。商用車機器事業における初の欧州拠点として、欧州顧客とのより強固な関係を構築してまいります。



## 会社概要

会社名	ナブテスコ株式会社	従業員数	単体 2,235人 連結 7,078人
設立	2003年9月29日	連結子会社	国内15社(他持分法適用会社4社) 海外40社(他持分法適用会社4社)
所在地	東京都千代田区平河町二丁目7番9号		
資本金	100億円		

## 役員

### 取締役会

代表取締役社長	小谷和朗
代表取締役	長田信隆
代表取締役	寺本克弘
取締役	坂井宏彰
取締役	吉川敏夫
取締役	橋本悟郎
取締役	箱田大典
社外取締役	藤原裕
社外取締役	内田憲男
社外取締役	山崎直子

### 業務執行体制

最高経営責任者	小谷和朗
副社長執行役員	長田信隆 (航空宇宙カンパニー社長 兼 ものづくり革新管掌)
常務執行役員	寺本克弘 (企画本部長)
常務執行役員	坂井宏彰 (パワーコントロールカンパニー社長)
常務執行役員	吉川敏夫 (技術本部長)
常務執行役員	十萬真司 (精機カンパニー社長)
常務執行役員	伊牟田幸裕 (鉄道カンパニー社長)
常務執行役員	釣泰造 (船用カンパニー社長)
常務執行役員	上仲宏二 (住環境カンパニー社長)
執行役員	橋本悟郎 (コンプライアンス本部長)
執行役員	箱田大典 (総務・人事本部長)
執行役員	國井重人 (住環境カンパニー 副社長(海外事業管掌))
執行役員	尼子清夫 (技術本部 副本部長 兼 事業企画部長)
執行役員	Jakob Gilgen (Gilgen Door Systems AG 社長)
執行役員	直樹茂 (精機カンパニー 津工場長 兼 総務部長)
執行役員	小川道雄 (ナブテスコサービス(株)代表取締役社長)
執行役員	秋田敏明 (技術本部 副本部長(技術管掌) 兼 (株)ナブテック代表取締役社長)
執行役員	安藤清 (精機カンパニー 開発部長)
執行役員	高木憲優 (航空宇宙カンパニー 副社長 兼 営業部長 兼 カスタマーサポートセンター長)
執行役員	伊集院正二 (ナブコシステム(株)取締役)

### 監査役会

監査役	大西隆之
監査役	井奥賢介
社外監査役	片山久郎 (非常勤)
社外監査役	佐々木善三 (非常勤)
社外監査役	長坂武見 (非常勤)

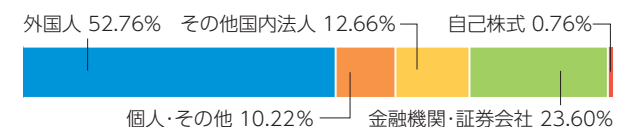
## 株式状況

発行済株式の総数	125,133,799株
株主数	17,144名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,382	5.90
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	6,230	4.98
東海旅客鉄道株式会社	5,171	4.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,028	3.22
ファナック株式会社	3,760	3.00
株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ	3,265	2.61
THE BANK OF NEW YORK 133972	2,417	1.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,959	1.57
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,645	1.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	1,580	1.26

## 所有者別株式数比率



## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。

### ■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、特別口座で管理されている株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ■ 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ■ 「配当金計算書」について

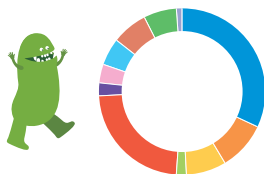
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社などにて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。

# 株主さまインフォメーション

## 株主さまアンケート集計結果のご報告 アンケートにご協力いただきありがとうございました

前回の株主通信に同封しましたアンケートに、3,767名の方からご回答をいただきました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。今後の経営・IR活動に役立ててまいります。ここでアンケートの結果の一部をご報告いたします。

### Q. 当社の株式を購入した理由 (複数回答)



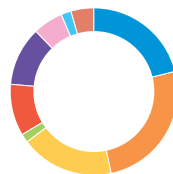
将来性	32.1%
収益性	9.3%
安定性	8.0%
知名度	1.8%
事業内容	23.2%
経営理念	2.5%
株価の割安感	3.5%
財務内容・業績	5.4%
配当	6.8%
証券会社の推薦	6.4%
相続	1.0%

### Q. 今後の当社株式の保有方針について



長期保有(3年以上)	53.0%
中期保有(1~3年未満)	25.0%
短期保有(1年未満)	1.9%
買い増し	7.5%
一部売却	0.8%
全部売却	1.5%
未定	10.3%

### Q. 投資先を検討する際の参考情報源 (複数回答)



新聞	21.2%
会社四季報・日経会社情報	25.7%
経済誌・投資情報誌	18.0%
知人のアドバイス	1.5%
証券会社のアドバイス	10.0%
株式情報サイト	11.5%
企業のホームページ	5.9%
会社説明会	1.9%
アナリストレポート	4.3%

その他、株主優待制度や工場見学の実施のご要望、当社事業に関するご意見、広告のご感想、そしてたくさんの応援メッセージをいただきました。ありがとうございました。なお、当社ノベルティセットは7月中旬より、アンケートにお答えいただいた皆さまにお送りさせていただきました。

### IRカレンダー

2016年			2017年		
10月	11月	12月	1月	2月	3月
第3四半期決算発表			通期決算発表		
			第14 回定時株主総会		

### ウェブサイトのご案内

<http://www.nabtesco.com>

当社ウェブサイトでは、当社に関するさまざまな情報を発信しています。



4月に全面  
リニューアル  
しました

# ナブテスコ 株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目7番9号  
TEL:03-5213-1133 FAX:03-5213-1171

UD  
FONT

ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C022915

VEGETABLE  
OIL INK